日本建設機械化協会
J.C.M.A.

建設の機械化

1982 年 7 月号　No. 389

目　　次

□巻頭言　新技術の開発……玉野治光／1
建設機械の最近の動向……西脇由弘／3
横浜“みなとみらい 21”事業の概要……高橋正宏／7
常磐自動車道日立トンネルの施工概要……真崎章一郎・秋山豊治・鈴木弘康／14
首都高速6号線（Ⅱ期）加平ランプの工事概要……古賀順一郎・丸山眞佐雄／20
東扇島 LNG 地下式貯槽工事の施工……杉正・丸山秀俊・山崎八郎／25

グラビヤ——東扇島 LNG 地下式貯槽工事

シールド工事における蓄電池機関車の安全対策……近藤章司・八田昌彦／31
□随　想　電車通勤雑感……清水四郎／34
アーティキュレート式ダンプトラックとその使用例……高月勝美／36
□昭和56年度官公庁・建設業界で採用した新機種
建　設　省……渡辺和夫・吉岡敏郎／39
運　輸　省……佐藤義博・新野教雄／44
日本国有鉄道……田中五十大・杉下孝治／45
日本道路公団……小林以策／48
昭和 56 年の建設機械新機種とその傾向……杉山庸夫／49
□新機種ニュース……調査部会／55
□文献調査
文献目録紹介……文献調査委員会／59
□整備技術
中央機械整備……整備技術部会／63
□統　計
建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移……調査部会／66
行事一覧……／67
編集後記……(天野・高木)／70

◀表紙写真説明▶

CAT 950 B ホイールローダ

キャタピラー三菱株式会社

本機は中型ホイールローダの中心機種として評価の高かった CAT 950 を最新の技術をもとにフルモデルチェンジした新鋭機である。生産性はもとより，耐久性，信頼性，サービス性，そして作業環境等これからの建設機械として十分な配慮が払われた設計となっている。16,200 kg という強力なバケット引起し力による爆落石から砂利，砂に至るまでの効率良い積込み，プレッシャライザ付キャブ，エアコン，サスペンションシートの標準装備による快適な作業環境，点検個所の減少，すべてのグリースポイントは地面に立った状態でサービスできる等数多くの特長がある。

≪主な仕様≫

バケット容量	2.4 m³
総　重　量	14,950 kg
定格出力	157 PS
ダンピングクリアランス	2,725 mm
ダンピングリーチ	1,155 mm